

# 多賀工業会 関西支部 会報

No.62 号

2025 年 10 月  
Since 1970

●発行：令和7年10月 ●発行人：川上啓二 ●編集責任者：村田健吾  
●事務局：〒651-8585 大阪市東淀川区西中島5-1-1 多賀工業会関西支部（行正隆俊方）  
●E-mail：tagakansaisibu@gmail.com ●ホームページ：<https://taga-kogyokai-kansai.ibaraki-univ.jp>



## 関西の酒蔵（奈良県）：「今西清兵衛商店」

奈良県の今西清兵衛商店さんです。「春鹿」の醸造元だそうです。伺った時は休業日で残念でした。場所は春日大社からすぐです。明治時代の創業。酒名は、春日大社とその神獣である鹿から春鹿と名付けられたそうです。お寿司屋さんにあったので飲みましたが芳醇なお酒で、さすが奈良を代表するお酒と思いました。

奈良は酒造発祥の地だけあって、他にも多くの酒蔵所があります。

（行正 記）



（株）今西清兵衛商店  
ホームページ

## 目次

表紙 関西の酒蔵	1
巻頭言、令和7年度関西支部活動体制	2
令和7年度 関西支部定期総会報告	3
第一部 総会	3
第二部 特別講演	4
第三部 懇親会	5
会員だより	8
令和6年度 事業報告、決算および会計監査報告	9
令和7年度 事業計画、予算	10
会員ひろば	
「行って来ましたインド！」	（行正隆俊 機械 昭54） 11
「徒然なるままに」	（西村寿夫 精密 昭48） 14
「私の「学び直し」と子どもたちとの関わり」	（鈴木康之 短化学 平04） 16
「42年間の会社生活を振り返って」	（林 孝行 機械 昭57） 18
支部会員動向、令和7年度支部会費、寄付を頂いた方々、および訃報	20
同好会だより	21
テニス、セイリング、ウォーキング、ゴルフ	
大学の話	23
幹事会だより、編集後記	24

## 会報62号の発刊に向けて

支部長 川上 啓二（機械 昭50）



関西支部は昭和45年（1970）11月23日発足ですので、今年で55年目になります。会員の昭和卒の方が約4割と徐々に少なくなってきましたが、会費の8割は昭和卒の方のお世話になっております。平成卒の方は定年延長もあり、まだ現役で働いておられると思いますが、若手の協力を得るのが課題となっています。

この会報の発行も関西支部の活動内容や、会員の方の近況や考え方を紹介し、支部への参加の機会を作る役目でもあり、重要な支部活動になっています。例えば2014/11の第48号に氏家様（専原動 S26）（2025/5ご逝去）からいただいた投稿「多賀 アレ・コレ」では多賀工業会の「多賀」の名称の由来について詳しく報告されています。他の会報でも、会員の皆様からの楽しい情報を頂いています。多くの会員の方に投稿を依頼しておりますので、宜しくお願いします。

また支部活動の大きなイベントとして総会&特別講演&懇親会があります。昨年と今年の特別講演には茨大・工学部の教授に最新技術に関する講演をいただき、講演を聞きたいと総会初参加の方も来て頂きました。

今後も興味ある会報と総会内容にして行きたいと思っております。是非会員皆様のご協力とご支援を宜しくお願いします。最後に、関西支部会員の皆様の益々のご活躍、ご健勝を祈念申し上げます。

### 令和7年度 関西支部の幹事および活動体制

#### 1. 幹事

役職	氏名	学科・卒年	役職	氏名	学科・卒年
顧問	及川 紘	金属 昭38	幹事	鈴木 孝三	精密 昭45
支部長	川上 啓二	機械 昭50	幹事	萩原 信男※2	院機械 昭50
副支部長	行正 隆俊※1	機械 昭54	幹事	飯島 有	院機械 昭50
副支部長	柳沼 英哉	化学 昭42	幹事	西川 欣吾	機械 昭54
会計	村田 健吾	電気 昭51	幹事	伊藤 隆康	機械 昭54
会計監査	樺嶋 徹男	院機械 昭49	幹事	押川 正大	機械 昭54
幹事	赤塚 修三	化学 昭40	幹事	岡 浩二	院シス 平 7
幹事	船田 順久	機械 昭42	幹事	小串 正樹	院機械 平27
幹事	高橋 昌之	精密 昭44	以上 顧問1名 幹事16名		

※1：幹事長を兼務 ※2：本部副会長を兼務

#### 2. 活動体制…各委員会と責任者、および活動内容

幹事会/役員会	行正 隆俊	支部活動のための企画、議案の立案。主にLINE会議で実施。必要に応じて顧問を交え役員会開催。
会報編集委員会	村田 健吾	年1回、秋に発行する会報の企画、草稿、編集、出版。
名簿編集委員会	川上 啓二	支部の名簿管理。住所変更時の更新、他。
総会準備委員会	船田 順久	総会の企画、外部講演の検討、会場手配、諸準備と運営。
支部活性化委員会	幹事全員	支部活動の中長期計画。会員サービスの向上。新規会員の参加、交流促進。
各同好会	各世話役（下記）	世話役中心に活動計画立案し会員に周知。
・ゴルフ	鈴木 孝三	・テニス 川上 啓二
・セイリング	萩原 信男	・ウォーキング 行正 隆俊



総会集合写真

個人情報保護方針により、個人名の記載はしていません。

令和7年6月22日（日）10時30分より、TKP ガーデンシティ大阪梅田の会議室にて、関西支部定期総会を開催致しました。出席者は、本部杉田会長様、中部支部廣木副支部長様、及び特別講演で工学部森教授の3名様をお招きし、支部会員17名と合わせ総勢20名となりました。

今年は若手参加増を狙って、会場を大阪駅近くの利便性の良い会場とすると共に、昨年同様、本学の森教授に介助機器の最新開発状況についての特別講演をお願いしました。その甲斐あって、初参加2名、若手のリピート参加1名があり、お陰様で盛会となりました。

### 第一部 総会

#### 1. 支部長挨拶…川上支部長（機械 昭50）

会員の年代が平成、令和卒が61%なのに対し、年会費納入者の8割が昭和卒なのが実態で、やはり若手参加増が課題であるとして、以下の3つの取組についての説明がありました。

- ①ホームページの充実（掲載記事増、他）
- ②同好会活動の活性化（ウォーキング同好会の再開、同好会広報ポスター制作、他）
- ③より興味の持てる特別講演内容の検討（本学教授による最新技術の紹介、等）

#### 2. 多賀工業会本部長挨拶…杉田会長様

多賀工業会の維持・発展のための3つの取組についてご紹介頂きました。

- ①国際会議参加費支援（応募数が2桁に。学生のポテンシャルアップ、多賀工業会への参画意識向上）
- ②支部総会参加費支援（昨年は2つの支部から申請あり。若手会員の支部活動参加支援）
- ③会報の発行（会費未納者への送付停止など、発行コストを削減した上で発行継続）

#### 3. 支部総会議事の承認

引き続き、支部長および担当より、

- ・令和6年度 事業報告、決算・監査（9頁参照）
- ・令和7年度 事業計画、予算案（10頁参照）

についての報告があり、満場一致でご承認を頂きました。



左から杉田会長、森教授、廣木副支部長



演題：広く現場で活躍する介助機器の開発を目指して  
講師：工学部システム工学科 森 善一 教授



森 善一 教授

介護福祉士の資格も持つ森先生に、開発中の介助機器について、その内容を動画も使い詳細に説明して頂きました。理想を求めるとハイテク、高価となるため、ローテクでの開発を目指しておられるとの事でした。大変身近な問題であり、皆さん食入様に聞いておられました。質問も多く出て、大変好評な講演となりました。

尚、先生の研究室は、ローテクでシンプルながら信頼性の高い介助機器の開発に興味を持つ学生さんに大変人気があるとのことでした。

以下に、講演頂いた一部を紹介させていただきます。当日の説明資料をご覧になりたい方は、氏名、専攻学科、卒年を記載し、[tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com) までメール頂ければお送りいたします。

<以下、説明資料より抜粋>

## 介助福祉ロボティクス メカトロニクス

### 「できない…」を「できる！」に替える 介助機器の開発

広く実際の現場で使っていただける介助機器の開発をめざしています。

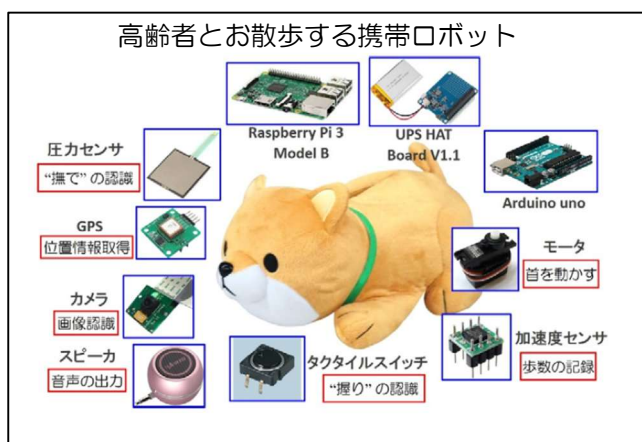
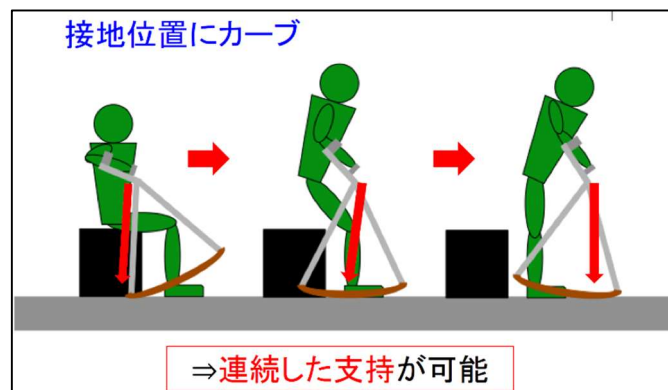


真剣に聞き入る様子

伸縮杖の解説図



移乗器



介助リフト車いす



### 第三部 懇親会

さあ、待ちに待った懇親会。大先輩とも気軽に話が出来、同窓の喜びを実感できる場です。中部支部、廣木副支部長のご挨拶に続き、最長老の中村忠雄様の乾杯の音頭で、楽しく始まりました。

#### ＜開会のご挨拶 中部支部 廣木副支部長様＞

中部支部の総会も高齢化が進む課題や参加率の低下に直面しています。会員は現役とOBで構成されていますが、転勤や体調不良などの理由で参加が難しい状況です。新たな会員勧誘も個人情報保護法により困難であり、参加者数や会費納入者の減少が続いています。支部活性化のために他学部卒業生や家族を受け入れる試みを始めており、今回の関西支部総会での情報交換を通じ対策を検討するつもりです。

少しお酒が入ってから、皆さんに近況などをワンポイントプレゼンテーションとして楽しくお話頂きました。お話頂いた順番に掲載しています。

#### ＜多賀工業会 杉田会長様＞

大阪駅からこの会場までの周辺は、私が過ごした30年前の大阪とは別の街のようで、その変化に驚きました。日立市ですが、かつて茨城県で最も人口が多い都市でしたが、現在は衰退が進み人口が減少しています。消滅都市としてカウントされる中、森先生のような方に再興に向けて頑張ってもらいたいと思います。

#### ＜萩原幹事 院機械 昭50＞

大学卒業後、パナソニックに入社し、その後パッファローで役員を務めました。67歳で定年退職後は、伊勢の別荘で釣りを楽しみ、さらに中古のヨットを購入し、現在は月の半分は海上生活者として楽しんでいます。奥さんは宝塚で山を楽しんでおり、それぞれ趣味をもって気楽に毎日を送っています。



茨城大学卒業後、堅実に働き家族を育てた結果、幸せを実感する今、寺門先生の「卒業生は幸せ」との言葉が思い出される今日この頃です。

#### ＜川上支部長 機械 昭50＞

昨年仕事を辞めた後、危険物取扱試験に合格し、現在はガソリンスタンドの監視員として働きながら、趣味のテニスを楽しんでいます。バイト収入でテニス遠征や試合費用を補い、楽しい日々を送っています。大学生活で得たものが現在の充



実した生活に繋がっていると感じていて、茨城大学には大変感謝しています。テニス同好会は初心者大歓迎ですので皆様の参加お待ちしております。

#### ＜茨城大学 森教授＞

本日はお招き頂きありがとうございました。母が一人暮らししている大阪の実家に久しぶりに帰省し、家のことも出来て大変助かりました。尚、先週ですが、仙台での知能ロボットコンテストで、参加80台ぐらいの中でトップで優勝し、最優秀技術賞を受賞出来ました。（23頁、大学の話題参照）

#### ＜中部支部 廣木副支部長様 電気 昭41＞

私は水戸出身で家が大学に近く、4年間徒歩で通学するものと思っていましたが、2年目からは日立キャンパスに移るということでビックリしたことを覚えています。

卒業後は建設会社に入り、地下鉄トンネル工事で大阪に来たこともあります。猛暑の中、建設会社で現場の暑さ対策の重要性を学び、送風機や飲料提供などの工夫をしました。今日は暑さも少し和らいで、余り暑さも感じず、非常に有難く思いました。

#### ＜鈴木幹事 精密 昭45＞

中部支部の菅谷支部長とは同期でお互いゴルフ好き。10年間ゴルフ対抗戦を楽しみましたが、近年参加者が減少し昨年を最後に対抗戦はやめました。私はテニスも大好きで、筋肉を鍛えることが糖尿病対策にもなることから、健康維持のためにも頑張っています。

尚、ゴルフ同好会ですが、メンバー減少で活動が縮小傾向ではありますが、平地でカートの乗り入れが出来る、高齢者に優しいゴルフ場で楽しんでいますので、興味のある方は是非参加して下さい。



### ＜船田幹事 機械 昭42＞

関西・中部支部間のゴルフ対抗戦では、中部支部の廣木さんは大変堅実なゴルフをされいつも上位におられた記憶があります。10年間の対抗戦は五勝五敗で終了しましたが、前夜の飲み会での交流も含め、大変充実した活動であったと思います。

また、自治会活動の一環で、河川敷の草刈りを責任者として奮闘。作業中は大変しんどいが、

終了後の爽快感や景観の美しさには代えがたいものがあり、充実感もあり私の生甲斐となっています。



### ＜藤井祐爾様 機械 昭49＞

阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件があった30年前、胃潰瘍で胃の一部を切除しました。原因は、ピロリ菌と、当時、設計課長をしていた時のストレスでしたが、その後30年間は無事に過ごせたことを感謝しています。現在は認知症予防を目指し、歩くことを継続しようと頑張っています。

### ＜西村寿夫 精密 昭48＞



白内障は思い切って手術をして視界がクリアになりました。免許更新の際の認知症テストは、問題集を暗記して事なきを得ましたが、最後に日付のところに誕生日を書いてしまい危うかったところを監督官に救われました。これからも認知症予防に努めながら、前向きに日々を過ごしていきたいと思います。

＜浦千壽様 院物質 平14＞

### ＜浦千壽様 院物質 平14＞

昨年度、田中先生の講演を機に総会に初参加し、今年は2回目です。春先に、茨城大学工学部を訪れ、新しい変化を実感して来ました。私は、修士課程修了後、粉碎機器メーカー



で製品開発に従事していましたが、体調を崩し、現在は和歌山で中学校数学教師として教壇に立っています。今日は、色々とお話を聞かせて頂けることを楽しみにしています。

### ＜中村忠雄様 電気 昭35＞

私は、今、数えて88歳で米寿。卒業してもう65年も経ったのかと、自分でも驚いています。

平成元年に、日本ゲームカード社へ出向した際の、平沢

さん兄弟に関する興味深いエピソードを思い出します。当時警察庁の課長で、現在は国会議員の平沢さんと、多賀工業会におられた平沢さんが兄弟ということ偶然知った訳ですが、現在もそのことを懐かしく思い出します。

### ＜小串幹事 院理学 平27＞

私は、社会人で茨大に入学し、当時、多賀工業会会長であった下畑教授の指導を受けました。現在は京大の電気工学専攻で研究員としてモーターの研究に従事。論文執筆に向け、高校の数学と物理を再学習し、努力をしています。論文を提出出来たら、来年のこの場で紹介させていただきます。

### ＜田桑克己様 化学 昭59＞

最初の就職先の広島から滋賀県への転勤をきっかけに、関西支部に入会し、先輩方に変なお世話になりました。3年前に60歳となり、島根の母親の介護のため広島へ転居。介護の困難さを経験し、より柔軟で細やかなサポートが必要だと感じ、介護技術の発展に期待しています。

幹事をしていた頃、中部支部のウォーキング同好会のお話を聞き、同好会を立ち上げました。数年間活動が続いた後、コロナの影響で中断。しかし、今日、再開のお話が聞けたことを大変嬉しく思っています。



### ＜樺嶋幹事 院機械 昭49＞

大学卒業後、川崎重工でオートバイエンジン設計に従事。電動化により私の時代は終わったと思っていましたが、昨年の講演で内燃機関の可能性を再確認しました。



源氏物語の読書や洋ランの栽培を続けていますが、地球の運動に関する特別展を見て、地球の動きに興味を持ち、NHKの教育番組を視聴し楽しんでいます。

家内の母親が健在で、家内が実家との往復生活を続ける中、週の半分を一人で過ごしています。この生活がいつまで続くのか気にしています。

### ＜斎藤進様 院機械 昭49＞

茨城大学に入学後、一番頑張ったのは空手部活動。卒業後、関西出身のためパナソニックに就職、結婚を機に親元を



離れる。定年後、親の介護を行い、その後はOB会の世話役や高齢者大学校で勉強している。他に、和食を楽しむ会にも参加して美味しいものを食べています。

#### ＜及川顧問 金属 昭38＞



日本製鉄の元社員として、US スティールの買収に不安を感じていたが、上手く行きそうとのことで安心した。日本製鉄の技術力は、特にハイテン鋼、自動車用薄板、高級厚板、電磁鋼板、シームレスパイプなどで優れており、これをUS スティールに投入して生産量の増を狙う計画との事。応援しているところです。

#### ＜<sup>すやまさとし</sup>陶山悟嗣様 院機械 昭53＞



今秋から始まる朝ドラ「ばけげん」は、松江を舞台にラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の人生を描いたものです。彼はギリシャとアイルランドの混血で、日本に帰化後、怪談を英語で執筆し海外でベストセラーとなりました。妻の小泉セツとの松江での暮らしも作品の一部で、ハーン役はトミー・バストウ、小泉セツ役は高石あかりです。ぜひご覧ください！私は松江でボランティアガイドをしており、松江城や小泉八雲旧居のご案内もしますので、いつでも来てください。

#### ＜丸山朝男様 精密 昭44＞

母親が体調不良となり、年末と1月初めに東海村訪問。医師の助言で延命措置を控え、自然な形で見守ることに。1月5日に母親が104歳で亡くなったが、涙を流さず葬儀を終えることができたのは良かった。



来賓席の様子

80歳近くになるが、山での釣りを続けることで健康を維持、足腰は問題ないが頭も口も悪くなっていると感じることがあります。毎晩酒を楽しむことが元気の源であり、今後も充実した日々を送りたいと考えています。

#### ＜本岡豊様 精密 昭44＞

今年の春、桜を求めて福島へ旅し、途中、多賀駅と大甕駅間の桜を訪れた時に、日立の衰退を実感した場面が印象的でした。交通の不便な地域では廃屋が目立ち、草が生い茂る場所も多く、地方衰退の深刻さを再認識しました。



近年、先生方が予算獲得に尽力している様子を聞き、大学制度の改善が必要だと感じています。また、多賀工業会としても財政的支援を考えるべきだと思いました。

#### ＜行正幹事長 機械 昭54＞



家系的に認知症の心配があるのですが、趣味のオーディオ製作や音楽鑑賞が認知症予防に効果があるとのことで取り組んでいます。最近は比較的安い装置もあるので、皆さんも試されたら如何ですか？

ウォーキング同好会の世話役を担当することになったものの、参加申し込みが現時点で無く、幹事の協力を得て実施予定。初回は尼崎の寺町や尼崎城を巡る優しいルートで、田桑さんのご指導を得ながら進めたいと思います。興味のある方は是非連絡を下さい。



校歌斉唱

皆さん、コメントありがとうございました。懇親会の最後は、恒例の校歌斉唱で幕を閉じました。



ちょっと一休み ～大学ロゴの由来～



茨城大学の広報・宣伝活動のシンボルとして2003(平成15)年に作成。制作者はグラフィックデザイナーの佐藤晃一氏(佐藤晃一デザイン室)。茨城大学のイニシャル「I」の小文字をモチーフとし、シンプルな造形として「学問の灯(ひ)」を表現した。(茨城大学ホームページより。)



## 会員だより

(総会出欠はがきの近況欄から転記。卒年順・敬称略)

佐々木 七朗	原動	昭34	2015年(10年前)4月病院の検査で前立腺癌判明。 以後、通院治療中で無理は出来ません。幸い現在迄10年間転移なく 過ごしていますが病気には勝てません。
小内 弘	短電気	昭36	元気です。
新田 陸夫	金属	昭37	もうすぐ86才になります。現在“座骨神経痛”と診断され、リハビリ 中です。但、日常生活に支障はなく元気に過ごしております。
大島 信康	化学	昭37	難聴の為、会話が出来ず難儀しております。会の発展を祈ります。
眞鍋 宜夫	機械	昭39	元気にしていますが所用で出席できません。幹事の皆様、大変ご苦勞様 です。支部総会の盛会をお祈りしています。
加藤 紘	化学	昭39	平穩な老後を送っております。
大貫 良昭	電気	昭40	関西を離れて長野で23年田舎暮らしです。80才を超えて登山は止め ましたが、畑で野菜作りに励んでいます。
伊勢山 宏	化学	昭40	顔を出せず申し訳ありません。河内の片隅でかすかに息をして居ります。 情けないことですが頭も体も日々衰えて来て居ります。本部の会報で 各支部の総会の写真を見ましたがどこも出席者が少ないですね。 工専の先輩が元気だった昭和の関西支部の総会が50人以上の参加者 があったのが夢のようです。盛会を祈って居ります。
赤塚 修三	化学	昭40	総会に参加できず残念です。悪性リンパ腫の治療を続けております。 当初は薬で3から4年抑えられていたのですが年齢のせいかな再発まで の期間が短くなってきました。風邪を引くと肺炎へ進行する傾向も強く 極力外出を控える生活を送っております。盛会になることを願っており ます。
黒澤 清隆	精密	昭40	申し訳ないが欠席します。歳には勝てません！ゴルフも月1回以上して いましたが残念ながら出来ていない！今年の念願は大阪万博に夫婦で 参加できる事かな・・・？？良い会合にして下さい。
石井 良夫	機械	昭44	元気にしています。盛会を祈っています。
加藤 実	機械	昭47	喜寿を迎えたというのに都市ガスから水素を造り、燃料電池により電気 と熱(お湯)を取り出す「エネファーム」を導入し家族全員から「歳だ から元がとれない！」と袋叩きに会っております。
林 清継	精密	昭47	支部活動お疲れ様です。総会には参加しませんが、いつも会報を楽しく 又懐かしく読ませて頂いております。
宮崎 眞	短機械	昭48	総会ご案内ありがとうございます。77才で自動車免許返納を目指して 自転車で買い物など用をしておりますが、自転車も危険な乗り物です。 ヘルメットとスローペースを心がけています。透かし見る老ゆると云う は罪なこと。
森 隆	情報	昭52	関西支部の皆様お元気でしょうか。私は5月に松の木のみどりつみを 行っていたのですが、脚立の一番上に立って不安定な姿勢で長時間作業 をしたので腰を痛めてしまいました。自己流なので枝が混みあい、葉が 密集してしまっていて剪定が大変でした。皆様も無理せず健康に気を付 けてお過ごしください。
西川 欣吾	機械	昭54	いつもありがとうございます。
吉川 恭彦	精密	昭54	いつも欠席ですいません。定年後は再就職のパート勤務と米、野菜作りで 過ごしています。
酒井 典夫	電子	昭56	今年3月に市役所関係の仕事も終わりOB会(パナソニック松愛会)の 世話役のみとなりました。
北川 泰司	電気	昭57	メール追加連絡
小林 理伸	精密	平03	お世話になってます。対応ありがとうございます。
吉田 淳	院都市	平12	変更はありません。よろしくお願いいたします。
岩橋 秀樹	機械	平22	メール変更、住所変更。お手数おかけしますが、よろしくお願いいたします。
石村 哲朗	院応粒	平28	今回都合がつかず欠席とさせていただきます。皆様のご健勝をお祈り申し 上げます。

令和6年度 関西支部 事業報告

<令和6年4月1日～令和7年3月31日>

主な支部活動報告

I. 支部会報発行

1. 発行日、発行部数  
・第61号：令和6年 9月1日発行（150部）
2. 発送  
・会員111部、また本部、他支部(13支部)：各2部）
3. 特記事項。  
1）61号も会報編集を自前で行い、ラクスル利用して印刷代を削減。  
第61号：表紙『関西の酒蔵・滋賀県 北島酒造』  
2）会員ひろばへは押川正大様より「日本の国力低下を痛感して」と、  
陶山悟嗣様より「音楽は世界をつなぐ～私のオタマジャクシ人生」を  
投稿いただき好評でした。  
3）会報の中で支部への参加を呼びかけ、総会への初参加3名ありました。

II. 支部会員名簿管理、名簿編纂

会報の返送（宛名不明など）分を修正。会員数は合計456名。昨年より23名減。  
大阪府：113名、兵庫県：139名、京都府：67名、滋賀県：68名  
奈良県：33名、和歌山県：28名、他：8名(三重:3、長野:1、広島:1、北海道:1、愛知:1、千葉:1)

III. 支部総会・懇親会開催

1. 令和6年6月23日 パナソニックリゾート大阪にて開催。  
21名出席、内初参加3名（H14 院物質、H18 院機械、H28 院応粒）。  
特に、女性の初参加があり、懇親会也大いに盛り上がりました。
2. 特別講演は田中光太郎教授に「茨城大学カーボンリサイクルエネルギー研究  
センターの取り組み」というテーマで注目されている取組内容を解りやすく  
詳細に説明して頂いた。

IV. その他

1. 本部理事会、総会出席：令和6年6月30日：萩原副会長、支部長出席  
他支部総会への出席は無し
2. 支部活動の運営、活性化について  
1）対面が必要な会議以外は、LINEでの幹事会を実施。  
・幹事会 12回開催（内LINE会議11回、会報発送1回）  
・役員会 2回開催
- 2）同好会活動  
・ゴルフ同好会 第26回関西支部ゴルフ会実施（9/30くずはゴルフリンクス）  
・テニス同好会 パナソニックリゾート大阪にて実施（6/25、10/29、3/18）
3. 関西支部ホームページへの情報掲載（行正幹事長）  
・支部活動内容を適時掲載中
4. 個人情報保護方針を2024/7/27に策定し、HPと会報に掲載しました。
3. 訃報（出欠ハガキより）：  
實壁 巖様(メテ H16) 鎌田 信雄様(金属 S51) 菅野 愿哲様(機械 S42)  
竹村 敬一様(金属 S22) 横山 茂様(電気 S35) 相澤 浩司様(化学 S35)  
荘司 正明様(電気 S22) 氏家 悦男様(専原動 S26) 西部 實様(機械 S41)  
(以上9名様)

令和6年度決算報告および会計監査

多賀工業会関西支部 令和6年度決算書

費 目		令和6年4月1日～令和7年3月31日	
		内訳	費目計
収入の部	1. 前期繰越金		867,192
	2. 支部年会費	-	235,000
	(1) 会費納入(67名)	134,000	-
	(2) 寄付(50名)	101,000	-
	3. 多賀工業会本部より支部支援金	-	43,900
	4. 支部総会	-	158,000
	(1) 懇親会費(会員18名+来賓3名)	132,000	-
	(2) 本部、中部、中国四国支部からの祝金	18,000	-
支出の部	(3) 本部よりの補助金(初参加者2名分)	8,000	-
	5. 広告収入	-	0
	・会報第61号	0	-
	6. 雑収入	-	4,500
	7. 利息	-	320
	合計	-	1,308,912
支出の部	1. 支部総会費	-	154,667
	(1) 会場費・懇親会費用(21名)	148,537	-
	(2) 来賓土産代	6,130	-
	(3) 役員会会費	0	-
	(4) 写真代・送料	0	-
	2. 支部会報発行費用	-	42,388
	・会報第61号 印刷(180部)	23,338	-
	送料	19,050	-
	3. 会合費	-	0
	(1) 中国・四国支部総会出席	0	-
	(2) 中部支部総会出席	0	-
	(3) 本部総会	0	-
	4. 幹事会費	-	55,820
	・4回開催(室代等、食事代、交通費)	55,820	-
支出の部	5. 通信費(総会案内、総会出欠はがき)	-	60,968
	6. 支部会費振込手数料	-	9,331
	7. その他	-	116,787
	(1) 支部活性化	-	-
	・特別講演料、講師宿泊費及び交通費 他	57,480	-
	(2) 事務用品購入(宛名ラベル、各種印刷、封筒代)	56,997	-
	(3) 銀行振込手数料	2,310	-
	支出計	-	439,961
	次期繰越金	-	868,951
	合計	-	1,308,912

上記の通り、報告いたします。

令和7年4月8日(火) 会計 村田 健吾 (電気 S51) 

令和6年度多賀工業会関西支部の会計は、すべて正確に報告されていることを認めます。

令和7年4月8日(火) 会計監査 村嶋 徹男 (院機械 S49) 

## 令和7年度事業計画

<令和7年4月1日～令和8年3月31日>

### I. 支部会報発行

- 発行日、発行部数
  - 第62号：秋に発行予定
  - 150部想定。
- 会報発送
  - 第61号と同じく、会費納入者および新規会員に送付を予定。  
(後日ホームページへ掲載)
  - 本部、他支部(13支部：各2部)に送付予定。
- 特記事項。
  - 会員の読みやすさを考慮しA4版のカラーを継続。

### II. 支部会員名簿管理、名簿編纂

- パソコンによる会員名簿管理システムの運用継続。
- 多賀工業会発行の名簿を利用し、新規会員の洗い出しを行う。  
次回発行は2026年予定。
- 新規会員に対する支部活動への勧誘。

### III. 支部総会

- 開催日：令和7年6月22日(日) TKP ガーデンシティ大阪梅田
  - 出席者：20名  
来賓：(本部)杉田 会長、(中部支部)廣木 副支部長、(工学部)森 教授
  - 主要議事：令和6年度事業報告、決算報告  
令和7年度事業計画、予算案
  - 特別講演会、懇親会  
演題：「広く現場で活躍する介助機器の開発をめざして！」  
講師：工学部機械システム工学科教授 森 善一 氏

### IV. その他

- 支部活動の効率化、活性化について
  - 関西支部ホームページの充実化 会員よりの投稿を募集中
  - 支部財政改善への継続努力：経費節減、会費納入者の増加策等  
＊会費納入と寄付継続のお願い
  - 同好会活動を継続
    - ウォーキング同好会 世話役：行正 隆俊(機械 S54)
      - 9月11日(日)10:00 阪神尼崎駅・南口集合 尼崎城とその周辺(約6km)
    - ゴルフ同好会 世話役：鈴木 孝三(精密 S45)
      - 第27回関西支部ゴルフ大会：9月22日(月) くずはリンクスゴルフクラブ
    - テニス同好会 世話役：川上 啓二(機械 S50)
      - 10月28日(火) パナソニックリゾート大阪にて実施予定
    - セイリング同好会 世話役：萩原 信男(院機械 S50)
      - 7月上旬、幹事2名体験乗船予定 (日程、コースは調整中)
- 会合：役員会、幹事会、各種委員会の実施 (LINE 会議を有効活用)
- 第62号会報発行準備等、次年度支部総会開催準備
- 次年度支部役員交代準備

## 令和7年度予算

多賀工業会関西支部 令和7年度予算			
費 目		令和7年4月1日～令和8年度3月31日	
		内訳	費目計
収入の部	1. 前期繰越金	-	868,951
	2. 支部年会費	-	240,000
	(1)会費納入(70人)	140,000	-
	(2)寄付	100,000	-
	3. 多賀工業会本部より支部支援金	-	43,900
	4. 支部総会	-	202,000
	(1)懇親会費(会員22人+来賓3人)	176,000	-
	(2)本部、中部、中国四国支部からの祝金	26,000	-
	5. 広告収入	-	0
支出の部	・会報第62号	0	-
	6. 利息	-	320
	合計		1,355,171
	1. 支部総会費	-	260,000
	(1)会場費・懇親会費用(25人)	250,000	-
	(2)来賓土産代	10,000	-
	(3)役員会会費	0	-
	(4)写真代・送料	0	-
	2. 支部会報発行費用	-	60,000
支 出 の 部	・会報第62号 印刷(180部)	25,000	-
	送料(@180x180人、本部、支部)	35,000	-
	3. 会合費	-	55,000
	(1)中国・四国支部総会出席	20,000	-
	(2)中部支部総会出席	35,000	-
	(3)本部総会	0	-
	4. 幹事会費	-	55,000
	・対面幹事会費用(室代等、食事代、交通費)	55,000	-
	5. 通信費(総会案内、総会出欠はがき)	-	80,000
支 出 の 部	6. 支部会費振込手数料(60人×180円)	-	10,800
	7. その他	-	92,000
	(1)支部活性化	80,000	-
	・特別講演料、講師宿泊費及び交通費 他	-	-
	(2)事務用品購入(宛名ラベル、各種印刷、封筒代)	10,000	-
	(3)銀行振込手数料	2,000	-
	支出計	-	612,800
	次期繰越金	-	742,371
	合計		1,355,171





「なんでインド？」という声もありましたが、大学同期の渡辺忠之さんの「人生観が変わる」との話で深く考えず妻と行くことに。ツアーで乾期の1月を選択。娘や友人は「大丈夫？」と心配してくれましたが、阪急交通社のツアーという事でクリアー。腹を壊しやすいという事でおかゆや簡易トイレなど準備しました。結構寒いらしいので荷物が膨れました。

1月2日大阪空港を6時5分集合なので空港内ホテルに前泊、翌朝羽田経由でANAにてデリーへ。約9時間後の夕方に到着、ガンジー空港が軍民共用でライフル銃を持つ兵士が警戒するし空港は撮影禁止と緊張したスタートでした。ツアーはガイドを除き4組8人でした。インドルピーが通貨ですが日本で両替は不可かつインド国外への通貨持ち出しは厳禁ということで現地ガイドさんがある程度準備してくれていました。使ったのは滞在中に8000円分程度で、主に飲み物代やスーパーでの支払い、チップなどに使いました。その時全ての紙幣には眼鏡をかけた老人が描かれており、誰かと尋ねますと絶句され「マハトマ・ガンジーだ！」と強い語調で言われ、インドでのガンジーへの敬意の深さを知りました。

今回のツアーの地元ガイドのケムさんは安倍元首相も案内したというベテランで、カーストでは最上位との事。

一日目、いよいよスタート。空港を出ると夕暮れの景色がスモッグ、PM2.5の影響で霞んでいます。バスでホテルへ向かう途中はスリル満点。バスと車は、バスから見るとくっついており、クラクションも凄まじい。これは、「通るよ」との合図で「通せ！」ではないです。すごい混雑の中、無事ホテルに到着。インドではホテルで毎回簡単な荷物検査が行われました。初夕食はスパイシーなインド料理で、スパイスに慣れるまで食べる量は調節します。生水や水洗いされたサラダ・果物は

初めは避け、歯磨きにもペットボトルの水を使うよう指導があり、毎日ペットボトルが支給されました。妻は行きの機内食で不調で初日は殆ど食べず、私は結構たべました。滞在中のホテルでは、地元の豪華な結婚式があり着飾った女性たちが行き交い、2日間で2億円規模。ホテルの8割が貸し切りで、観光客は喫茶室の隅で食事。深夜までにぎやかでした。インドの貧富の格差を実感する出来事でした。そしてもう一つショックだったのはトイレ。インドでは紙を使わず、壁にあるノズル付きのホースで洗い流す方式。これは余程慣れないと難しかったです。紙は流せず使用後はバケツへ。最後まで慣れませんでした。

2日目はベナレス観光の予定でしたが、濃霧による空港閉鎖で全便欠航。代わりにデリー市内観光へ変更し、柔軟な対応で、予定外の場所にも訪れることができました。

まず訪れたのは、第一次世界大戦英軍インド兵戦没者慰霊碑の「インド門」、その奥には日本と縁の深くガンジーとは対立もあったチャンドラボースの像が立っています。次に行ったのは、ガンジーが暗殺された地で埋葬の地である「ラージ・ガート」。そこは裸足で祭壇にお参りしました。どちらもインド人が多かったです。その後、高さ73mのイスラム建築「クトゥブ・ミナール」、独特な形状の階段井戸「アブラーセン・

キ・ハオリ」（予定外）にも立ち寄れました。ここはインドの若者にとり「京都の賀茂川べり」で、段々にカップルがたくさんいました。





昼食は「Waves」というレストラン。辛く日本のインド料理とは異なるスパイシーさです。午後は貸切バスでジャイプールへ。運転席と客席の間には天井までの透明な仕切りがあり、運転

手と助手はバス内で寝泊まりするとのこと。車内には家財道具も積まれていて、まさに“移動する住居”という印象でした。急な予定変更にもかかわらず、インドの文化に触れる貴重な機会となり、記憶に残る一日となりました。



ジャイプール観光の3日目は、壮麗な山城アンベール城からスタート。昼食は、王様の好みに合わせて多彩な味が楽しめるように作られ

たというカレーのワンプレート。数種類のカレーにごはんやナンを浸して食べます。やはり強烈。



風の宮殿は場外に出られない王族女性のために造られこの地の赤い岩で建てられています。周辺の建物も同様

で町は“ピンクシティ”と呼ばれ、観光地ならではのスカーフなどの土産物屋が並ぶものの、騙されるということで、旅行会社は行かせないし個人でも行ってはいけないとの話でした。

ジャンタル・マンタル天文台では、2秒単位の時刻を測定できる驚きの装置が並び、そこでケムさんと星座が同じと分かり笑顔で握手。280年以上今も現役の施設という話にも感嘆しました。シティ・パレスでは、インド王族が今も居住しているそうです。インドでは“自分が自分”でないと生きていけないとの事で、道路横断も必死でした。待っていたら永遠に渡れない世界です。



アグラを訪れた4日目、旅のハイライト、タージ・マハル廟へ。愛妻のために皇帝が建

てた霊廟で、厳重な荷物検査（ライフル銃を持った兵士がチェックする。ガイドさんの顔が今までと変わります）と靴袋着用が印象的。対称性を持たせた本当に美しい造形ですが、唯一左右非対称なのが二人の棺の配置だそうです。続いてアグラ城や皇帝が幽閉されたジャハーン・ギル宮殿へ。物乞いが多く子供まで動員されています。ちゃんと上客は見抜くようで、私たち夫婦にはあまり寄り付きませんでした。私は前日夜からお腹をやられています、庶民の味「コルガッパ」に挑戦。屋台のものは衛生面から避けるのですが、ホテル製ならOKとのことで安心。それと普通は甘い飲み物のラッシーですが他にはない塩味も試してみました。日本人が飲んだのにはインド人もびっくりだそうです。

インドで牛はたくさん見ます。神様ですからどこにいても追い払うことはしませんが、犬は見ても猫はいませんので聞くと「猫は弱いから外に出さない」らしいです。



5日目はバスと飛行機を乗り継ぎ、仏教の聖地サルナート。釈迦が初めて説法を行ったダメーク・ステューバーと、仏陀の生涯が描かれたムルガンダクティ寺院を訪問。仏陀にも妻と女性がいたと知り、日本の仏教観とのギャップに煩惱が増えましたね。

夜は特別にガンジス川での礼拝プージャを見学。静寂と思いきや、照明と音楽で祭りのように盛り上がる踊りの礼拝に圧倒されました。





写真の所まで行くのが大変で、牛や車が入り乱れる夜の雑踏を必死で皆について行きながら進みました。



聖なるガンジス川

6 日目は早朝のガンジス川へ。屋台の煮込みチャイを飲んで、木製ボートで川下りへ。売り子から花とろうそくを買い、そっと流すと願いが叶うとされており、炎が暗い川面を漂う神秘的で厳粛な光景でした。火葬場の炎が上がる中、ヒンズー教の聖なる儀式と人々の暮らしに触れました。「火葬場」と言うのは矢倉の上に遺体を安置し、その上に松の枝を積み重ね火葬します。ヒンズー教ではその遺灰をガンジス川に流してもらう事が最大の喜びなのだそうで、まさに「聖なるガンジス」でした。川辺では松の枝を売る人、それを運ぶ人、燃やす人と細かく分かれて生活の糧を得ているのだそうです。



沐浴

沐浴する人は予想より少なく、寒さの中ひとり黙々と水に入る男性がいるだけでした。外国人は水に触れないこと。体調不良を招く恐れがあるとか。川辺には冬季用の路上生活者向けのテントも設置されていました。その後

は高級シルク店で曼荼羅模様の品を購入。

妻の希望で現地スーパーに立ち寄りましたが、金属製弁当箱を諦めてもらったことで少々恨まれました。雑多で混沌とした町から帰路につきました。

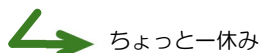


街中

バラナシ空港から国内線でデリーへ。機内食は驚くほどのボリュームで、食べるのに苦戦しました。

インドでは男性のターバン姿は減り、女性のサリーは健在。若い男性の間では髭が流行（女性にもてるから）。若い男女の間では、カースト違いの恋愛に悩み命を断つケースもまだあるそうです。

帰国前のデリー空港では、妻が機内に忘れたスカーフの事を ANA の日本人スタッフ（これがイケメンでCAに囲まれていました）に話すとすぐにスマホで見つけられました。空港のラウンジが豪華でしたが、既にお腹一杯で断念せざるをえませんでした。帰路は ANA の直行便で、行き9時間が帰りはわずか7時間。北インド旅は濃密でしたが、「次は西インドの岩窟寺院へ行きたい」と語る妻のタフさに感服しつつ、私も悪くないと思いました。「人生観が変わる」までは行かず、私には昭和30年代頃の大阪の雑駁な心象風景が思い出されました。同時に宗教色の強いこの国は他の国とは全く違う発展をしていくのかな、と思いました。



ちょっと一休み

## 茨城大学 ビジュアル年表 って、ご覧になったことはありますか？

2019年、創立70周年記念事業として、学生さんが主体となって製作されたものです。右のQRコードから、是非ご覧下さい。



茨城大学ビジュアル年表

## 多賀工業会本部の活動 も見てみましょう！

多賀工業会本部のホームページやInstagramを見て、本部の活動を知りましょう。



多賀工業会  
ホームページ



多賀工業会  
Instagram



## 》》 徒然なるままに 《《

にしむら としお  
西村 寿夫（昭48 精密）



夕方あの時、台所に立っていたら電話が鳴った。普段は出ないがその時どういうわけか電話に出てしまった。行正さんからの悪魔の囁きだった。

多少改善はしてきているが生来、小心な臆病者で一人である事の方が多く、時に会費を収めるが同窓会の類は出ることは少なかった。多賀工業会にも全く無縁だった。なのに会報へのお誘いに出てしまった(´Д`;)!

どうしてこうなった？と悔やんでも後の祭りなので、まあこれまでを振り返る良い機会として行正さんの要望に応じて思いつくままに記して寄稿する。

茨大は精密工学科を昭和48年に卒業した。そして、もう52年経った。調べたら精密工学科は無くなっていた！。今年は後期高齢者となり、

車の高齢者講習では夜間視力など衰え等を強調され落ち込んだ。白内障は手術し、免許は更新しゴールド免許になった。

最近びっくりしたのは糖尿病患者の平均死亡年齢は74.4歳であること。平均的にもう死んでからの時間に入っていた。H<sub>g</sub>A<sub>1c</sub>は7.2%から下がらない。立派な糖尿病患者である。

いつまでもあると思うな自分の命と思う。今まで何回もした断捨離とか終活等は、手間がかかる割に心理的にも手間的にも負荷が大きいので止め、残りの人生ケセラセラで楽しく暮らしたい。

幸い子供らも独立し、夫婦気ままに人並に暮らせて、海外にクルーズに行ったりしている。これも昨今とは異なり、活力のある社会で大学→大企業就職と無事過ごせたからだろう。運がよかった。

これからの日本を考えると若者は大変だ。消費税を廃止せよという主張が多いが、増税、例えば100%にし、その収入を財源として負の所得税（例：所得200万円の人に300万円、所得500万円の人に200万円、所得1000万円の人に100万円を還付）に使い、低所得者層の補填及び高額所得者（富裕層）に確実な税負担、とした方が格差の是正になると思うが、こんな考えは主流ではない。自分の考えはもう世の中の流れについていけない証拠だろうと、大きなことはあまり考えないことにしている。

頭の回転が遅くなってきている等、種々の理由により日々時間の経つのは早い。タイムイズライフだ。残り時間とにかく楽しいことを考え生活するようにしている。

思い起こすのは水戸での部活新入生勧誘行事だ。高校時代とは世界が一変した。きれいなお姉さん

に誘われ、才能もなくクラシックギター部に入った。土浦での練習合宿や袋田の滝ピクニックは楽しかった。何人もの先輩はアルハンブラの宮殿を弾いていたが、自分は出来なかった。今は弾かれることないギターが手元（物置に）ある。

別に女性が多かったから惹かれたわけではない。学部単位取得が意外と暇だったので教職の単位も取った。水戸キャンパスでの教職の授業も多賀中での教育実習も教職仲間とのミーティングも楽しかった。この時取得した教職の免状のおかげで40年後市役所の福祉のバイトを1年間出来、発達障害の人と触れ合えたのは会社生活という狭い世界以外に視野を広げてもらえて感謝している。

卒論は「人工知能」だった。といえば聞こえはよいが三目並べプログラムの作成で、日立のコンピュータを使うのに苦労した。あまり大きな行数では動かせないのが最終勝利の途中にサブゴールを

設け、いかにその後の評価値を高めるかをパターン認識する解析を進めた。まあ子供の遊びのよう

な内容だったが、サブゴールが大事という考え方はその後の行動に役立った。

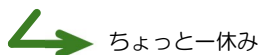


就職した会社での仕事は開発関係だった。床下を配管設置するセントラルクリーナーや折り畳み自転車は売れなかった。売れないものが多かったが自分の作ったものが世に出るので働き甲斐があった。最後に開発した人力補助電動自転車は今ではシェアNo.1であり開発者の一員として感慨深い。事業が生成発展している様を見るのは嬉しい。

自転車部門は人員500名に満たない松下の片隅の事業部だったので、人も技術も金も無かったので、先ず先行メーカと電動三輪の共同開発をし、二輪は三洋電機（電動ユニットや電池）や武生松下（モーター製造）や会社の中央研究所（歪センサー応用）を回って要素部品の協力を得ながら開発をした。共同開発契約書や秘密保持契約では法務部に協力してもらった。相手メーカのレース場の片隅で実走したのも懐かしい。忙しかったが充実した時期だった。今どんな制度になっているかは知らないが、事業部制では枠を超えた製品開発に苦勞する。現在ソニーや日立に大幅に遅れを取った原因の一つではないだろうか。日本がここ30年停滞してるのも従来の枠内の活動だったからかもしれない。

早期退職してから複数のところで働いてよかった。2、3の中小企業や市役所で70歳まで働いてこれまでとは違う社会の人たちの生活を共にし体験が豊かになり考えの幅が広がった。75歳まで働いてもよかったが、余命僅かと思われることもあり、ボランティアに行動を絞った。琵琶湖で毎年人力飛行機大会が行われているのを見ると、いよいよ自分も湖面が近くなって来ていると感じる。すれすれであっても正しい姿勢で長く、出来るなら後20年は飛び続けソフトランディングしたい。また違う景色がみられるだろうと期待している。

今は庭仕事の他に、社会福祉協議会の紹介で、聴く事がその人の生活を良くする事に資する人のお宅に何う傾聴ボランティアの活動と、日本の生活や仕事に意欲的に取り組もうとされてる海外実習生や在留外国人向けの日本語学校の教師のボランティアをしている。これまで経験したことのない話を伺えたり、新鮮な緊張感あふれる若者の気持ちに触れることができたりと得難い体験をさせて貰え、楽しいひと時を過ごしている。移動には車が必要であり、運転できる限り続けたいと思っている。



～総会こぼれ話～

### 世界でもめずらしい 高速道路が貫通しているビル

今年の総会の会場は、大阪駅からほど近いTKP ガーデンシティ大阪梅田（右写真）の8階の会議室をお借りしました。このビルは16階建てのオフィスビルで、その5～7階を道路が貫通していることで有名です。何故、こんなことになったのでしょうか？

1980年半ばに、高層オフィスビル建設計画と、阪神高速の梅田出口建設計画が同時に持ち上がり、梅田一等地の交渉は長く続きます。交渉は難航を極めました。1989年「立体道路制度」が創設され、道路の上下に建物を建設できるようになり、現在のユニークな構造が誕生しました。

それにしてもビックリさせられる姿ですね。





## 》》 私の「学び直し」と子どもたちとの関わり 《《 ～50代、小学校教員3年目～



鈴木 康之（平 O4 短化学）

北海道の小学校で教壇に立って3年目。現在50代後半です。新人教員としての私の日々は、発見と学びに満ちあふれています。振り返れば、その道のりは決して平坦なものではありませんでした。大学時代に一度は諦めた教員になる夢に、なぜ今、再び挑戦しようと思ったのか。それは、「多くの回り道」と「人々との出会い」、そして「自分の経験を子どもたちに伝えたい」と考えたからです。

私の出身は北海道滝川市です。人生の紆余曲折があり「引っ越しが趣味（20回）」と思われるほど2年～3年のペースで引っ越しをしていました。住んだ場所は北海道滝川市から札幌市、船橋市、茨城県日立市（学生時代）、千葉市、市川市、松戸市、茨城県古河市、奈良市、そして再び北海道にもどりました。教員への憧れは、大学時代に芽生えました。しかし、当時は「就職に役立ちそう」という安易な考えで、その夢は脆くも崩れ去ります。在籍した茨城大学工業短期大学部から茨城大学工学部への編入学も考えましたが、工学部と教職課程を履修できる教育学部が物理的に離れていた為に、実際に工学部と教育学部が

同じキャンパス内にある他の大学へ編入学をしました。その大学では、膨大な単位取得と卒業研究に追われ、教員免許取得の道は完全に閉ざされてしまいました。就職後に仕事の関係で20種類以上の資格を取りました。最後に転職した会社を50代で退職しました。これから仕事をどうしようかと思っていたときに人生の大きな転機が訪れました。

人生の大きな転機が訪れたのは、コロナ禍が始まった頃です。日本年金機構で国民年金の受給可否に関する業務に就いていました。どこか物足りなさを感じていました。「この仕事は、自分の成長に繋がっているのだろうか」。そんな自問自答を繰り返す中で、職場で出会った元中学校の校長先生の存在が、私の心に火を灯しました。50歳を過ぎてからの転職。給与の大幅なアップは望めないかもしれない。建築士や環境分析の仕事も考えましたが、年齢の壁は想像以上に厚いものでした。その時、心の奥底にしまい込んでいた「教員」という夢が、鮮やかに蘇ったのです。「資格があれば、道は拓ける」。民間企業時代に培ったこの信念が、私を突き動かしました。

### \*\*\* 楽しく、大変であった「学び直し」の日々 \*\*\*

教員免許を取得するため、私は短期大学の門を叩きました。そこでの日々は、私の人生観を大きく変えるものでした。自分の子どもと同じ世代の学生たちと共に学ぶ時間は、新鮮な驚きに満ち、凝り固まっていた私の心を柔らかくほぐしてくれました。

しかし、スタートは順風満帆ではありませんでした。1年生の時、私は大学の先生から「癩癩<sup>かんしゃく</sup>持ちには、教員は務まらない」と厳しい言葉を突きつけられました。教員として不適格であるとされ、教育実習への参加を二度も拒否されるという、絶望的な状況に追い込まれました。それでも、「どうしても教員になりたい」。その一心で学生生活

を送りました。

そんな私を救ってくれたのも、また「人との出会い」でした。ある時、山口県の先生から突然「道德勉強会に参加しませんか」というお誘いのメッセージが届いたのです。半信半疑で参加したその会は、私の世界を大きく広げてくれました。全国の素晴らしい先生方との繋がりが生まれ、その情熱や教育観に触れる中で、私の教員としての「土台」が築かれていったのです。

多くの人の支えを受け、2年生でようやく教育実習への参加が許可されました。実習では単学級の2年生を担当。担当教官からは毎日厳しい指導を受け、心が折れそうになることも一度や二度



ではありませんでした。しかし、そんな私を励ましてくれたのは、他ならぬ子どもたちでした。「先生、大丈夫だよ」「頑張って」。純粋な瞳で私を見上げ、かけてくれる言葉の一つひとつが、乾いた心に染み渡りました。この経験を通して、私は教員という仕事の本当の素晴らしさに気づかされたのです。

そして迎えた北海道の教員採用試験。奇跡的に

合格を手にすることができました。今でも二次試験の面接官の言葉が忘れられません。「あなたのモチベーションの維持方法はなんですか?」。私は迷わずこう答えました。「学ぶことが、大好きだからです」。これまでの人生で私が貫いてきた、そしてこれからも貫いていきたい信念そのものでした。

## 子どもたちと共に成長する

なぜ、私が教員になったのか。それは、これまでの私の多様な経験が、子どもたちの未来にとって何かの役に立つかもしれない、と考えたからです。回り道だらけの人生でしたが、その全てに意味があった。子どもたちに「未来は明るいんだ」と気づいてほしい。そして、先人たちが築き上げてきた知恵や文化を受け継ぎ、次の世代に伝えていくことに、大きな使命感を感じています。

実際に教壇に立ってみると、日々が驚きの連続です。「先生は子どもたちと共に成長する」という言葉を、身をもって実感しています。漢字の止め、払いを正確に指摘してくれる子どもたち。私の授業態度を、その素晴らしい反応で評価してくれる子どもたち。彼らの素直なつぶやきや眼差しの中にこそ、授業改善のヒントが隠されています。子どもたちは、常に私に多くのことを教えてくれる「先生」なのです。

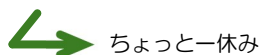
もちろん、報道されている以上に、教員の仕事は責任が重く、費やす時間も膨大です。時には、ボランティア精神だけで成り立っているのではないかと疑問に思うこともあります。未来を創る子どもたちのために、もっと教育現場に人材を配置すべきだと強く感じます。

しかし、それ以上にこの仕事には輝く喜びがあ



ります。同僚の先生方の温かいサポートに支えられ、「与えてもらったら、与え返す」という好循環の中で働くことができる。大変なことがあるからこそ、子どもたちの成長という「いいこと」が何倍にも輝いて見えるのです。まるで、悪役がいるからこそヒーローが輝くように。

何よりも、子どもたちに教えるために私自身が学び続けることが、楽しくて仕方ありません。新しい発見があるたびに、心が躍ります。自分が成長できるから、教員は楽しい。この想いを胸に、これからも子どもたちと共に、一步一步、成長していきたい。そして、まずは私たち大人が楽しんで生きる姿を、子どもたちに見せていくことが、何よりも大切なのだと信じています。



## ◆◆◆総会へのお誘い◆◆◆

関西支部では、総会会場をアクセスの良い場所に変更し、また本学の先生に講演をお願いするなど、利便性の向上や内容の充実を図っています。総会は先輩、同期、後輩の方々との貴重な出会いの場でもあります。大事にしたいところですが、一方で近年参加者が徐々に減少し総会運営も大変厳しくなってきました。

会員の皆様におかれましては、総会の趣旨、目的をご理解頂き、年1回の総会に是非ともご参加下さいますようよろしくお願い致します。(支部長 川上 機械 昭50)

## ≫ 42 年間の会社生活を振り返って ≪

### — 手ブレ補正技術の開発史 —

林 孝行（昭 57 機械）



Fig.1 PV-460

2024 年末をもって 42 年間の会社生活を終えましたので、その歩みを振り返ってみたいと思います。

1982 年、松下電器産業株式会社（現・パナソニック ホールディングス株式会社）無線研究所に配属後、現在では撮影機器には必須機能となっている手ブレ補正技術の開発に初期の段階から参画しました。手ブレに関する基礎データの取得からスタートし、6 年間にわたる要素技術開発および製品開発を経て、1988 年に世界で初めて光学式手ブレ補正機能を搭載した VHS カムコーダー「PV-460」（Fig.1）を発売することができました。

その後、製品化には至りませんでした。家庭用アナログハイビジョン VTR や放送用デジタルハイビジョン VTR の機構開発を担当。1995 年からデジタルビデオカムコーダー（DVC）向けの光学式手ブレ補正技術の開発に着手し、1999 年 3 月には、レンズユニット内の一部のレンズを上下左右に駆動して手ブレを補正する「インナーレンズシフト方式」により小型化を実現した光学式手ブレ補正機構に加え、リニアモーターによる高速 AF 機構やエンコーダー搭載ステッピングモーターの開発により実現した高速ズーム駆動機構を搭載した「NV-DS9」（Fig. 2）を発売しました。



Fig. 2 NV-DS9

さらに、ビデオカメラの開発と並行して、デジタルスチルカメラ（DSC）用レンズの要素技術開発に着手しました。当時、“市場参入としては 3 周遅れ”とも言われていた状況の中、2002 年 12 月には、世界初の全域 F2.8・12 倍ズームの光学式手ブレ補正機能付きデジタルカメラ「DMC-FZ1」（Fig.3）を発売。翌 2003 年には、コンパクトタイプとして初めて光学手ブレ補正機能を搭載したモデル「DMC-FX1/FX5」（Fig.4）を発売。



Fig. 3 DMC-FZ1

これを契機に、LUMIX 全機種に光学式手ブレ補正を搭載する方針となり、事業部門と密に連携しながら、他社に先んじた先行開発を担当してきました。



Fig. 4 DMC-FX1



Fig. 5 DMC-G1

2008 年 8 月には、従来のフォーサーズ規格をベースに、ミラーレス構造による小型軽量化を追求したマイクロフォーサーズ規格をオリンパス（株）と共同策定・発表し、同年 10 月に、世界初のミラーレスデジタル一眼「LUMIX DMC-G1」（Fig.5）を発売。これを契機にミラーレス化が進み、現在では、ほとんどのデジタル一眼カメラがミラーレス化していることは広く知られているとおりです。

このような開発の歴史の中で、世界初の光学式手ブレ補正技術の開発についてもう少し振り返ってみたいと思います。1980 年代、カメラ機能としては、オートフォーカスの民生用カメラへの搭載が始まった時期であり、撮像デバイスも撮像管から MOS/CCD へ、制御技術はアナログからマイコン制御へと移行するなど、まさに技術のパラダイムシフトが起きていました。

そのような中、手ブレ補正技術の研究開発は、1982 年に先輩社員がハワイ旅行のドライブで助手席からビデオ撮影している友人の姿を見た際、カメラの揺れが腰を中心にした回転運動であることに気づきました。カーナビ用のジャイロセンサの検討していた先輩は、「手ブレ＝腰の回転＝ジャイロ」と着想し、そこから手ブレ補正の原理検証がスタートしました。

しかし、当時は手ブレに関連する特許や文献もなく、手ブレを検出する民生用途に対応可能な小型・低コストのジャイロセンサも存在せず、ゼロからのスタートでした。

まず、手ブレ補正の目標を定めるために「手ブレとはどのような挙動なのか」、を明らかにするため、計測用のジャイロを用いて静止時・歩行時・車載撮影時などの角速度データを取得し、振幅と周波数の分析を行いました。また、人間の揺れに対する視覚的感度を把握するため、振動台にカメラを乗せて振幅と周波数を変えて揺れた画像を被験者に見てもらい、画像の揺れに対する検知限界、許容限界に関する定量データを取得しました。これらのデータを基に、手ブレ補正の目標仕様を具体化していく地道な取り組みを行いました。

ジャイロセンサの開発においては、カーナビ用として検討していた振動型ジャイロの構造を音叉構造 (Fig.6) にすることで信号検出の安定化を図るとともに、小型化・低コストと手ブレ検出に必要な性能の確保に成功し1988年に「音叉型振動ジャイロ」の製品化を実現しました。手ブレ補正機能の開発では、その振動型ジャイロの試作品を用いたプロトタイプカメラを試作して事業部門に提案を行いました。しかしながら、当時、国内市場では、8mmビデオカメラとVHS-Cのビデオカメラの小型・軽量化競争に打ち勝つことが最優先課題とされ、厳しいサイズ制約の中での新機能提案は採用されるに至りませんでした。そうした状況の中、VHSカムコーダーが主流だった北米市場において、同市場を担当していた松下寿電子工業株式会社にて「世界初の手ブレ補正機能」を差別化の要素として製品化することが決定し、引き継ぎ開始から2年をかけて1988年6月に米国のCES (Consumer Electronics Show) で発表し、「世界初の手ブレ補正機能搭載 VHS カムコーダー「PV-460」として同年12月に発売。多くのマスコミに取り上げられ、ハイエンドクラスのカムコーダーとして累計約3万台のヒット商品になりました。

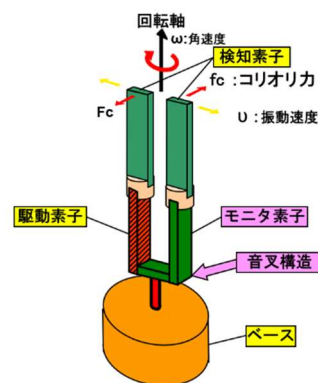


Fig. 6 音叉型振動ジャイロ

ゼロスタートから製品化までの一連の開発プロセスを担当し、製品化の段階では数多くの課題が噴出しましたが、関係者の総力によって乗り越えることができ、技術者として非常に貴重な経験を積むことができました。この経験は、その後のDVCやDSCにおける手ブレ補正技術、AF、ズーム機構などのレンズシステムの先行開発に活かされ、常に「〇〇初」「最薄」「最速」などのインパクトのあるお客様価値の創出を目指して取り組んできました。

これらの挑戦は、私自身にとって大きなモチベーションの源となり、関係部門との連携強化にもつながるとともに、開発力の向上にも寄与しました。もちろん、高い目標設定を掲げたことで、要素技術を短期間で具現化する難しさがあり、メンバーの苦勞も大きなものでした。しかし、完成した製品が上市された時の達成感と誇りは、何ものにも代えがたいものでした。

<参考情報> ~参考情報は下のQRコードからも閲覧できます。~

- 1) 「手ブレ補正技術の軌跡 | 日経クロステック (xTECH) (第1回~第10回) に連載記事として掲載されています。ご興味のある方はぜひ参照ください。

(<https://xtech.nikkei.com/dm/article/FEATURE/20100705/183965/>)

- 2) 各種手ブレ補正の原理と特徴

[手ブレ補正機構 - Wikipedia](#)

- 3) 論文 「VHS camcorder with electronic image stabilizer」

M.Oshima, T.Hayashi, S.Fujioka, T.Inaji, H.Mitani, J.Kajino, K.Ikeda, K.Komoda,  
IEEE Transaction on Consumer Electronics, Vol.35, No.4, November 1989.

- 4) LUMIXにおける手ブレ補正機能について (最新技術解説)

[【LUMIX Ability】手ブレ補正機能について解説 | LUMIX Magazine](#)

1)



2)



3)



4)





## 会員動向

(卒年順、敬称略)

### <会費を納入頂いた方々>

池崎 学 (電気 昭32)	鈴木 孝三 (精密 昭45)	伊藤 雅之 (電子 昭57)
佐々木 七朗 (原動 昭34)	本岡 豊 (精密 昭46)	青木 均之 (機械 昭58)
中村 忠雄 (電気 昭35)	林 清継 (精密 昭47)	大西 光一 (精密 昭61)
小内 弘 (短電気 昭36)	加藤 実 (機械 昭47)	坂本 隆吏 (電子 平02)
岡山 伯匡 (電気 昭36)	宮崎 眞 (短機械 昭48)	鈴木 康之 (短化学 平02)
新田 陸夫 (金属 昭37)	西村 寿夫 (精密 昭48)	小川 章 (情報 平02)
五味 湧 (金属 昭37)	樺嶋 徹男 (院機械 昭49)	小林 理伸 (精密 平03)
大島 信康 (化学 昭37)	藤井 祐爾 (機械 昭49)	矢野 勉 (建設 平04)
大里 忠義 (機械 昭38)	齊藤 進 (院機械 昭49)	小瀧 秀行 (院電気 平06)
及川 紘 (金属 昭38)	萩原 信男 (院機械 昭50)	井尻 丈太 (機械 平06)
小林 紀勝 (機械 昭39)	川上 啓二 (機械 昭50)	吉田 淳 (院都市 平12)
眞鍋 宜夫 (機械 昭39)	村田 健吾 (電気 昭51)	浦 千壽 (院物質 平14)
加藤 紘 (化学 昭39)	森 隆 (情報 昭52)	早稲田 一嘉 (院環境 平16)
赤塚 修三 (化学 昭40)	陶山 悟嗣 (院機械 昭53)	永岡 賢一 (電・子 平17)
黒澤 清隆 (精密 昭40)	押川 正大 (機械 昭54)	小串 正樹 (院理学 平27)
伊勢山 宏 (化学 昭40)	西川 欣吾 (機械 昭54)	石村 哲朗 (院応粒 平28)
船田 順久 (機械 昭42)	伊藤 隆康 (機械 昭54)	
石井 良夫 (機械 昭44)	行正 隆俊 (機械 昭54)	以上54名 総額¥108,000-
丸山 朝男 (精密 昭44)	酒井 典夫 (電子 昭56)	

### <寄付を納入頂いた方々>

佐々木 七朗 (原動 昭34)	本岡 豊 (精密 昭46)	行正 隆俊 (機械 昭54)
中村 忠雄 (電気 昭35)	林 清継 (精密 昭47)	酒井 典夫 (電子 昭56)
小内 弘 (短電気 昭36)	加藤 実 (機械 昭47)	青木 均之 (機械 昭58)
岡山 伯匡 (電気 昭36)	宮崎 眞 (短機械 昭48)	田桑 克己 (化学 昭59)
新田 陸夫 (金属 昭37)	西村 寿夫 (精密 昭48)	大西 光一 (精密 昭61)
及川 紘 (金属 昭38)	樺嶋 徹男 (院機械 昭49)	小川 章 (情報 平02)
小林 紀勝 (機械 昭39)	藤井 祐爾 (機械 昭49)	矢野 勉 (建設 平04)
眞鍋 宜夫 (機械 昭39)	齊藤 進 (院機械 昭49)	小瀧 秀行 (院電気 平06)
加藤 紘 (化学 昭39)	萩原 信男 (院機械 昭50)	吉田 淳 (院都市 平12)
赤塚 修三 (化学 昭40)	川上 啓二 (機械 昭50)	浦 千壽 (院物質 平14)
黒澤 清隆 (精密 昭40)	村田 健吾 (電気 昭51)	早稲田 一嘉 (院環境 平16)
伊勢山 宏 (化学 昭40)	森 隆 (情報 昭52)	小串 正樹 (院理学 平27)
船田 順久 (機械 昭42)	陶山 悟嗣 (院機械 昭53)	石村 哲朗 (院応粒 平28)
石井 良夫 (機械 昭44)	押川 正大 (機械 昭54)	以上45名 総額¥ 85,000-
丸山 朝男 (精密 昭44)	西川 欣吾 (機械 昭54)	
鈴木 孝三 (精密 昭45)	伊藤 隆康 (機械 昭54)	

～会費の納入、寄付へのご協力、大変ありがとうございました。～

#### ≪訃報≫

心よりお悔み申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈り致します。

竹村 敬一 (金属 昭22)	相澤 浩司 (化学 昭35)	鎌田 信雄 (金属 昭51)
ご逝去日→ 2024/10/28	2024/11/25	2024/8/3
莊司 正明 (電気 昭22)	石樽 昭 (化学 昭39)	ほうかべ 寶壁 巖 (メデ 平16)
2024/12/31	2024/12	
氏家 悦男 (専原動 昭26)	西部 實 (機械 昭41)	以上10名
2025/5/8	2025/2/22	
横山 茂 (電気 昭35)	菅野 愿哲 (機械 昭42)	
2024/11/14	2024/9/4	

# 同好会だより

## テニス同好会

## テニス同好会練習会を実施しました

2025/5/20 13:00~15:00 於：パナソニックリゾート大阪（大阪府吹田市）



今回も4人のみ参加でしたが、熱中症に気を付けながら楽しく練習出来ました。

最初に基本練習を行い、その後に4ゲーム単位のミックスダブルスをペア交代しながら休憩を挟みながら楽しみました。鈴木さんはご高齢ながらフットワークも軽く、年齢を感じさせないストロークです。

事前連絡を頂ければ最寄駅の大阪モノレール「宇野辺」駅への送迎を致します。良い環境ですので、お気軽にどなたでも参加下さい。

今後の予定については、関西支部のホームページにご案内を掲載します。

（世話役：川上啓二 機械 昭50）



パナソニック  
リゾート大阪  
へのアクセス

## セーリング同好会



たけのくち  
洲本 炬口に27フィートを係留しています。ヨットの楽しみを皆さんと共有したく紹介します。

私とヨットとの関りはUS サンディエゴ勤務時中古購入し、前所有者から習得！ヨットの魅力に今も取り憑かれています。当時は日本人は殆どゴルフ？でした。



退職後の今はヨット三昧の生活です。自然、青い空、風、音楽・・・アドレナリン満載です。是非乗船し爽快感を体験して下さい！

人数は1～3人（子供可）、時間帯は午前から3時頃まで。ご連絡をお待ちしています。

（世話役：萩原信男 院機械 昭50）

◎各同好会に参加ご希望の方は、同好会名、お名前、卒業年次、学科に、簡単なコメントを添えて、関西支部事務局メールアドレスまでご連絡お願いします。各同好会より折り返しご連絡を差し上げます。

✉Email address : [tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com)



## ウォーキング同好会

## 6年ぶり！に活動再開

（世話役：行正隆俊 機械 昭54）

コロナ禍で長らく中止していたウォーキング同好会をやっと本年度再開することができました。

再開第1回目（通算第21回目）は、「ぶらり尼崎さんぽ」で2時間程度としました。雨予報でもあり、残念ながら参加者は川上さんと行正の2名でした。

9月13日午前10時に阪神尼崎駅の駅前広場に集合、最初に尼崎城に行きました。当日は尼涼祭で尼崎城の公園内には家族連れが沢山いましたが、幸い城内は空いていました。城はコンクリート造りで4階建て。城主の変遷やこの地に建てられた理由などの説明展示、刀の展示では実際の刀の重さに驚き、体験イベントでは兜をつけての撮影など、大人も案外楽しめる展示でした。



その後、寺町の方に進み、見学して回りました。お寺を集めた一画となっているので楽に回れます。当日は市主催の尼崎ウォーキングも開催されており、通りはかなり混んでいました。写真は、寺町の中でも大きな「本興寺」の門です。日蓮宗のお寺です。

最後は尼崎信用金庫記念館です。レンガ造りの建物の後の白い建物内に、「世界のコインミュージアム」があり、日本の貨幣は勿論、世界中の国のコインが展示されていました。とても「小銭」ではない大きなコインもあり驚きましたが、全国的に珍しいと思われ、興味深い展示内容でした。



尼崎駅帰着が12時05分くらいで、初めとしては丁度良い距離でした。

（来年度は春と秋の2回計画中です。決まり次第HPでお知らせしますので、よろしくお願いします。）

## ゴルフ同好会

## 関西支部ゴルフ大会開催!!

（世話役：鈴木孝三 精密 昭45）

～9月22日（月） ぐずはゴルフリンクス 枚方市～



当日は、最近の猛暑がうその様な秋晴れとなり、絶好のゴルフ日和の中で開催することが出来ました。参加は、新田陸夫（昭37）、鈴木孝三（昭45）、押川正大（昭54）（敬称略）の3名でした。押川さんは初参加でしたが、飛距離抜群の若い方の参加は大歓迎で、大変嬉しく思いました。

成績は、ダブルペリアのハンデが幸いして鈴木がネット72（グロス86）で優勝、押川さんがネット74（グロス80）で準優勝、ニアピン賞は鈴木と新田さんでした。

最年長の新田さんの、相変わらずお元気なお姿と飛距離に元気を頂き、また押川さんは240ヤードの飛距離と堅実なゴルフでバスグロと、

和気あいあいとゴルフを楽しむことが出来ました。

ゴルフの後は、お風呂で汗を流しさっぱりした気持ちで、近くの居酒屋で表彰式を兼ねて懇親会。ノンアルコールビールで乾杯し、日頃の健康、日常生活の情報交換を行い、お互いの健康維持と次回開催を願いながら解散致しました。



（関西支部ゴルフ大会は毎年秋に開催しています。日程はHPに。皆様の参加をお待ちしています。）



茨城大学のホームページに掲載されている話題より、以下の内容について、抜粋してお伝えします。

(添付のURLは、右側QRコードからも閲覧できます。)

## 1. 工学部と日立製作所が包括連携協力協定を締結

茨城大学工学部と株式会社日立製作所は7月30日、人材育成や共創活動により日立市を中心とした地域課題の解決ならびに地域活性化に寄与することを目的とした、包括的な連携協力に関する協定を締結しました。両者での協定締結は今回が初めてです。具体的な取り組み内容としては、学生のキャリア形成を支援することを目的としたインターンシップの実施や、日立製作所で活躍する多様な人材との座談会などを通じたDEI(ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)推進の取り組みなどが予定されています。締結式では、茨城大学の乾正知工学部長と、日立製作所の佐野豊ひたち協創プロジェクト推進本部長が、「小平記念ホール」(茨城大学日立キャンパス)にて協定書にサインしました。(\*:D多様性、E公平性、I包括性)



①



②



①<https://www.ibaraki.ac.jp/news/n/2025/07/30014280.html>

②<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/07/0730.html>

(日立製作所ニュースリリース)

## 2. 水戸市とふるさと納税を活用した大学支援に関する覚書を締結

8月5日、茨城大学は水戸市とふるさと納税を活用した大学支援に関する覚書を締結しました。水戸市がふるさと納税を活用して大学支援への寄附を募り、大学の学生への支援や修学環境の改善、地域振興に関する事業等に活用できる仕組み。制度は9月1日に開始予定です。

③



④



③<https://www.ibaraki.ac.jp/news/n/2025/08/08014297.html>

④<https://ameblo.jp/takahashi-yasushi/entry-12921139893.html>

(水戸市HPより)

## 3. 知能ロボコンW優勝&最優秀技術賞！茨城大学ロボット技術研究会大活躍

6月に宮城県仙台市で開催された「第37回知能ロボットコンテスト2025」で、茨城大学ロボット技術研究会から3台のロボットが出場し、2つあるコース、チャレンジャーズコース(出場59ロボット)とマスターズコース(出場9ロボット)のそれぞれでの優勝を含め、全9賞のうち4賞を獲得する快挙を達成しました。



⑤



⑥



⑤<https://www.ibaraki.ac.jp/news/n/2025/07/09014237.html>

⑥<https://youtu.be/EENGiv4uLEo> (決勝動画 3h26m)

(茨大登場時刻 1台目:1h9m、2台目:1h25m、3台目:1h46m)

## 4. その他トピックス

- ・茨城大学 学術研究院応用生物学野 豊田淳教授、吉田悠太講師と、国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)は共同で、慢性的な睡眠不良を唾液で判定する技術を開発しました。

⑦<https://www.ibaraki.ac.jp/news/n/2025/04/21014142.html>

- ・茨城大学基礎自然科学野の逢澤正嵩助教と百瀬宗武教授、東京大学大学院理学系研究科のチームは、若い恒星からのジェットが生み出した衝撃波によって形がゆがめられた原始惑星系円盤を発見しました。惑星が誕生する現場は、予想以上に過酷なのかもしれないことを示唆する知見とのこと。

⑦



⑧



⑧<https://www.ibaraki.ac.jp/news/n/2025/08/05014289.html>

👉 QRコードを読み込む場合は、他をマスキングすると読み間違いを防げます。

## 幹事会だより

本年度もお陰を持ちまして、支部総会の開催、62号会報を発行することが出来ました。皆様のご協力に感謝いたします。

本年度も支部長の方針である新しい会員、特に若手(60才未満は、当支部では十分若手です!)の参加を増やす事を狙い、総会を駅に近い会場で開催することにしました。駅近の点は好評でした。また、初参加の方2名は何れも講演会演題が興味あるものなので参加との事でした。曜日や時間を変えてみる、と言う案は今年度での具現化はできませんでした。

皆様も茨城大学のホームページをご覧いただき、もし興味のある研究や聴いてみたい講師がおられたら、編集後記のアドレスまで、リクエストメール下さい。検討します。

同好会ではコロナで中断していましたウォーキング同好会を再スタートすることにしました。行きたいコースなどありましたら、連絡頂ければと思います。

多賀工業会各支部も若手会員の増加が課題となっております。また若手幹事の勧誘も課題に上がり始めました。関西支部ではLINEで幹事会を開催しておりますので見学でもいいので参加希望の方はメールをください。

何か敷居が高いと思って居る方もおられるかも知れませんが、会社組織などとは違います。何の利害関係もない者同士、話し合っているのは新鮮なものです。そんなにお互い気を使う必要ありません。会社を辞めて急に何もなくなるのは脳によくないとも思いますので気楽に立ち寄ってみては如何?

(行正隆俊 機械 昭54)

### 支部会員の皆様へ 会費納入、ご寄付のお願い

～支部活動継続の為に協力をお願いします。～

会員の皆様には、日頃より当支部の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。活動の主な取組は、会報発行、名簿編纂、同好会、総会開催であり、魅力ある同窓会とすべく幹事一同取組んでいるところです。

未納の方は、同封の振込用紙にて、郵便局窓口、ゆうちょ銀行ATMにてお振込みをお願いします。



今年から会報編集を担当することになりました。総会直前に体調を崩し残念ながら参加できませんでしたが、参加された方々のご協力により総会記事を何とか書き上げることが出来ました。

会報編集に当たっては、皆さんに楽しく読んで頂きたいという思いから、懇親会の記事、会員ひろば、同好会活動の記事に特に力を入れました。会員ひろばに寄稿して頂いた方々にお礼申し上げます。尚、本紙の内容に関する事、関西支部へのご意見、ご質問、同好会への参加ご希望などについては下記事務局までメールでご連絡をお願いします。また関西支部のホームページにも各種情報を掲載しておりますので合わせてご覧ください。(村田健吾 電気 昭51)

事務局連絡先 : [tagakansaisibu@gmail.com](mailto:tagakansaisibu@gmail.com)

事務局窓口 : 幹事長 行正隆俊 (機械 昭54)

ホームページ : <https://taga-kogyokai-kansai.ibaraki-univ.jp>



多賀工業会関西支部  
ホームページ